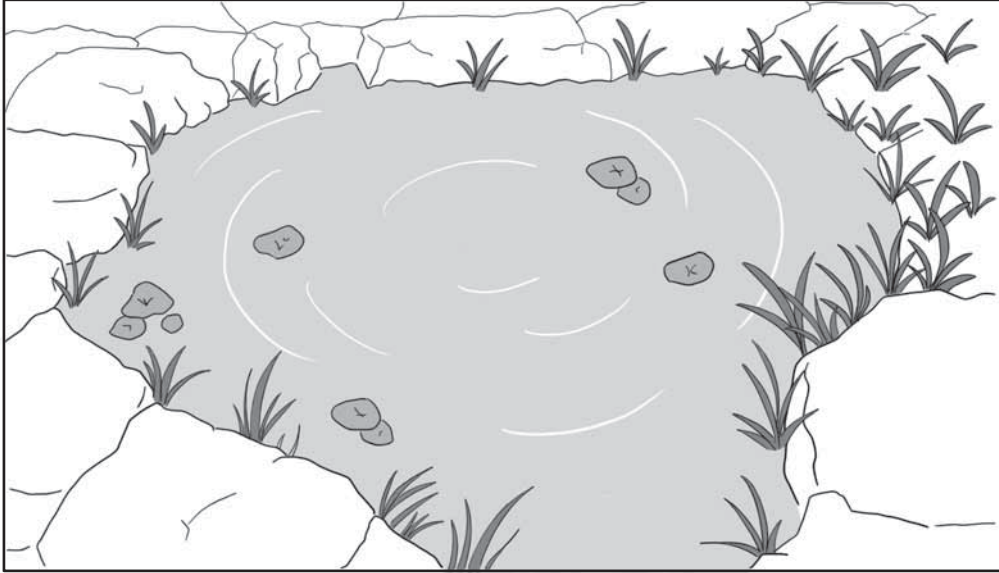
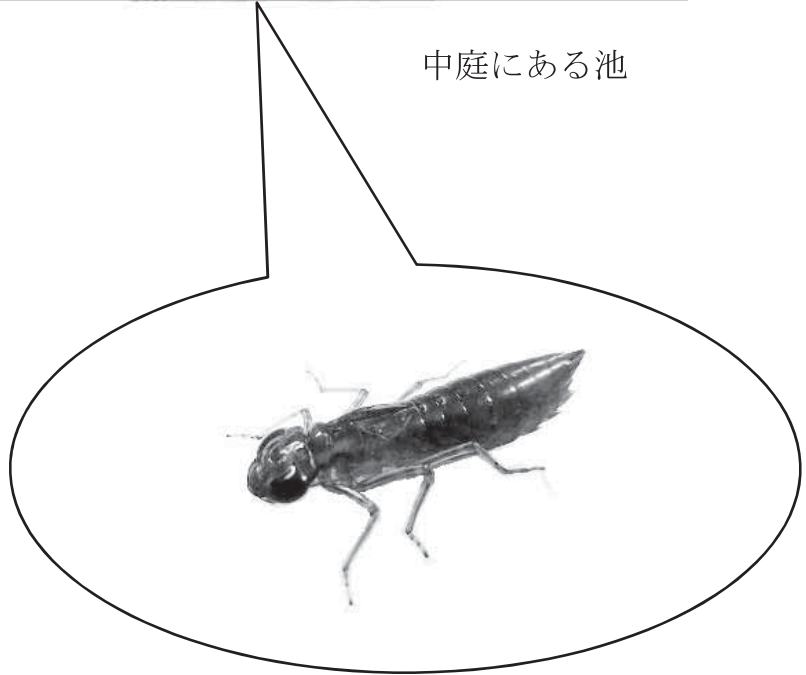


1

りか子さんは、学校の中庭にある池でトンボのよう虫を見つけました。そこで、自分で育てながらよう虫の育ち方をくわしく観察することにしました。



中庭にある池

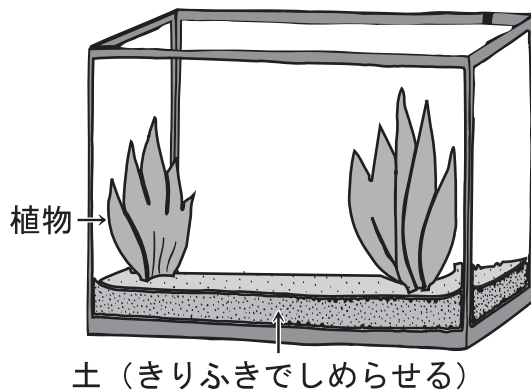


トンボのよう虫

(1) トンボのよう虫が成長してせい虫になるまでのようすを観察する方法として、最もよい方法を下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

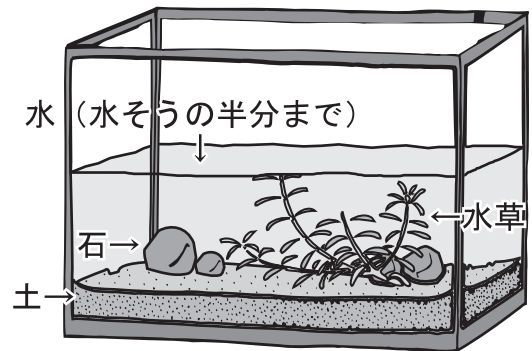
1

水そうに土を入れ、植物を植える。さらに、きりふきで土をしめらせる。



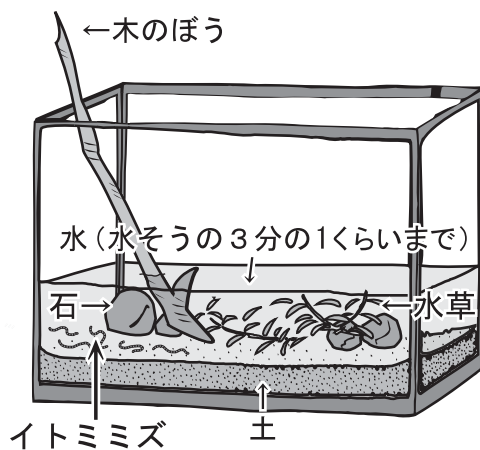
2

水そうに土と石を入れ、水を水そうの半分まで入れる。さらに、水草を入れる。



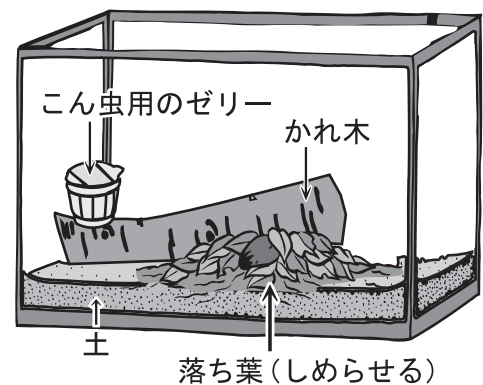
3

水そうに土と石を入れ、水を水そうの3分の1くらいまで入れる。さらに、水草、イトミミズを入れ、さいごに木のぼうを立てる。



4

水そうに土を入れ、しめらせた落ち葉、かれ木を入れる。さらに、こん虫用のゼリーをおく。



観察を続けていると，トンボのよう虫が皮をぬいで，せい虫になりました。



りか子さん

トンボの育ち方は，理科の授業で学んだ
チョウの育ち方とちがうみたいだね。

そこで，りかさんは，トンボとチョウの体のつくりと育ち方について，理科の授業で書いたノートを見直したり，本で調べたりして，下のようにまとめました。

【りかさんのまとめ】

<トンボとチョウの体のつくりと育ち方>

同じところ

- チョウもトンボもせい虫はえさを口からとり入れ，えいようをとる。
- チョウもトンボもせい虫の体は，頭，むね，はらの3つの部分からできていて，むねには4枚のはねと6本のあしがついている。

ちがうところ

- トンボのせい虫はかむような口をしているが，チョウのせい虫は，ストローのような口をしている。
- トンボは，よう虫が **A** にならないでせい虫になるが，チョウはよう虫が **A** になってからせい虫になる。

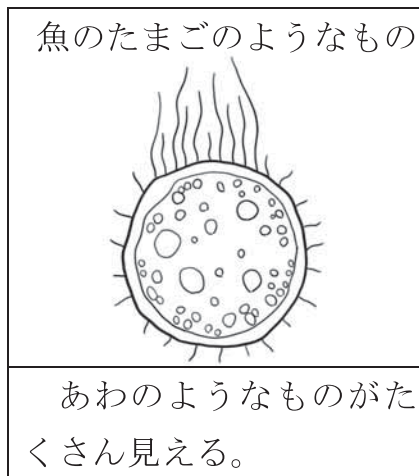
(2) 【りかさんのまとめ】にある **A** とは何ですか。

(3) 【りか子さんのまとめ】は、トンボとチョウの体のつくりと育ち方について、どのようなことを比べてまとめていますか。下の1から4までの中から、あてはまるものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

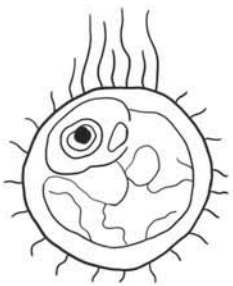

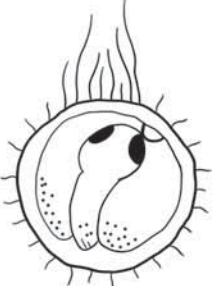
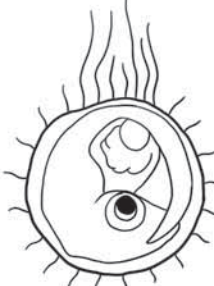
- 1 はねのもよう
- 2 口の形
- 3 よう虫の皮のぬぎ方
- 4 よう虫の体のつくり

次に、りか子さんは、池からとってきた水草に魚のたまごのようなもの（右図）がついていたことに気づき、観察したことを記録しながら育てました。すると、それはメダカになったので、たまごであったことがわかりました。

図



(4) 下のアからエは、観察を続けたりか子さんのスケッチの一部と説明文です。たまごは、どのような順で変化したのでしょうか。アからエを成長した順にならべかえましょう。

ア	イ	ウ	エ
			
心ぞうの動きや血液の流れがよくわかる。	体はすきとおっていて、はらの部分にふくらみがある。	目ができて、頭の部分がわかるようになる。	体がときどきくるりと動く。